

令和5年度第1回企画会議議事要旨

日 時 令和5年7月20日(木) 15時30分～15時50分
場 所 Zoomによるオンライン会議

出席者 東北芸術工科大学 : 柳川 郁生 副委員長/教授
鶴岡工業高等専門学校 : 田中 勝 准教授
東北公益文科大学 : 山本 裕樹 准教授
〃 : 白田 裕司 教務学生課長
東北文教大学 : 加藤 隼人 准教授
東北文教大学短期大学部 : 菊地 一穂 准教授
東北文教大学短期大学部 : 佐久間 美智雄 教授
山形県立産業技術短期大学校 : 木村 和子 事務局次長兼総務課長
山形大学 : 栗山 恭直 委員長/教授
〃 : 下平 裕之 教授
〃 : 滝澤 匡 准教授

陪席者 山形大学 : 小山 和佳 学長付主幹専門員
〃 : 樋口 浩朗 総務部長付上席専門員兼
総務部総務課社会共創推進事務室長
〃 : 岡崎 勇樹 総務部総務課社会共創推進事務室主任

事務局 : 今野 浩美、羽角 扶美

議 事

- 1 令和5年度企画会議事業について
事務局から、資料1-1に基づき、令和5年度の事業計画に係る企画会議の担当箇所について、資料1-2に基づき、令和5年度の企画会議に係る予算について説明があった。
- 2 令和5年度学生による地域貢献・活性化プロジェクトについて
事務局から、資料2-1に基づき、地域貢献・活性化プロジェクトについて、概略説明があった。
引き続き事務局から、資料2-2に基づき、令和5年度の実施スケジュールについて説明があった。
本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり(◎…質問・意見、○…回答)。
◎ 昨年度応募したプロジェクトでも申請は可能か。
○ 昨年度不採択で、今年度継続して実施しているものでも新しく審議するので申請は問題ない。
◎ 昨年度採択されたものを今年度も継続して申請をしたい。
○ 積極的に応募いただきたい。各機関でも、学生に周知願いたい。

次いで、委員長から資料2-2について諮られた結果、承認された。

3 やまがた夜話について

委員長から、本件について、以下のような説明があった。

- これまでは月毎にテーマを決め、複数回実施をしてきたが、今年度は、9月から2月まで月1回実施を計画することとなったので、各委員から講師の推薦をお願いしたい。ただ、希望があればこれまでと同様にひと月に3回お話しいただいても構わない。
- オンラインを併用し、山形市以外の県内にも広めたい。現在、ゆうキャンパスが遅くまで使えないことから、山形市以外の会場で開催しているものをゆうキャンパス等で受信し、参加できるようにすることを検討する必要がある。昨年度は、放送大学の協力でオンラインでも配信をし、多くの方に参加していただいた。今年度は山形市以外の機関の方からもご担当いただき、オンラインでも配信したい。

本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり。

- ◎ オンラインでの実施を希望している。チラシ等にQRコードを入れて送付いただき、そこから申し込みができるようにしていただけるのか。

講師についても、オンラインであれば、庄内の方でも対応できると考えるがいかがか。

- QRコードは可能である。講師については、当該機関に所属している方やその機関で企画された外部の方、退職された方でも可能である。今までは、山形市内で開催しており、年配の受講者が多かったが、オンラインでの実施により、より幅の広い年齢層の方に参加していただける機会になる。各機関のノウハウを共有し進めたい。

次いで、委員長から、各委員への協力依頼があった。

4 その他

委員長から、本会議における事業のアイデアについてご意見をいただきたい、後日、事務局へのメールでも構わないので、積極的にご連絡いただきたい旨述べられた。

【配付資料】

企画会議委員名簿

資料1-1 令和5年度 事業計画書

資料1-2 令和5年度 収支予算書

資料2-1 「学生による地域貢献・活性化プロジェクト」支援助成金交付要綱

資料2-2 令和5年度 学生による地域貢献・活性化プロジェクトについて (案)